

(2-2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現③)

◆取組実績

●生きるチカラまなびサポート事業

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣する。

- ・登録講師 19名
- ・小中学校への講師派遣 22回
- ・保護者、教職員向けシンポジウム、研修会 1回
- ・運営アドバイザー会議 3回



【プログラミング授業】



【赤ちゃんともふれあう授業】

【令和元年度業績目標】

- ・事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合

目標：8.0%未満 ⇒ 実績：3.8%

目標達成



受講者の意見

〔小学生〕（プログラミングを通して）たくさん失敗して、せいこうした時のたっせいかんがありました。

〔中学生〕相手のことを考えて行動することがすごく大切だと気付いた。色んな人のたくさんの思いがあって、私がここにいるのだなと思いました。

(2-2) 次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現④）

◆取組実績

●民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」の開催

中学校を会場として民間事業者等による課外学習を行い、学習習慣の定着、基礎学力の向上をめざす。

対象：区内在住の市立中学校に在籍の１～３年生

会場、曜日、時間：

- ・生野中学校 毎週火・金曜日
- ・巽中学校 毎週水・金曜日
- ・生野区民センター 毎週月・木曜日

①18:30～19:40 ②19:45～20:55

※時間帯の①と②はどちらかを選択

科目：英語・数学

受講者数：37名（令和元年度末時点）

【令和元年度業績目標】

- ・「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」という設問について「全くしない」と答える生徒

目標：半減 ⇒ 実績：（前）10名 （後）6名

目標未達成

◎要因分析と課題

- ・「勉強が好きか」「勉強の仕方は分かるか」という趣旨の設問では肯定的な回答割合が増加しており、一定の学習効果は出ているが、家庭学習の時間増には十分につながっていない。

◎今年度の方向

- ・一人一人の習熟度別の指導を継続し、より一層主体的に学習する姿勢を身につけられるよう、引き続き取り組んでいく。

(2-3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

◆取組実績

●小・中学校交流かけはし事業

児童生徒が中学校生活を楽しく過ごすためにスムーズな移行ができるよう、区が支援を行い、各中学校区における小中連携の取組をさらに充実させ、進学先の中学校の生徒や同じ中学校へ進学する他校の児童との交流促進を図る。

- ・小中学校の交流（部活動・授業体験等）
全中学校区（8中学校区）で実施
- ・年間を通した交流（英語授業）
1 中学校区 5 回



【中学校での部活動体験】



【小学校同士の交流】



【年間を通した交流(英語授業)】



【令和元年度業績目標】

- ・異なる年齢や学校の児童や生徒と交流できてよかったと感じた参加者の割合

目標:80%以上 ⇒ 実績:94%

目標達成



参加の児童・生徒より

- ・（他校の児童や中学生と）もっと交流したい！
- ・少し早い中学生気分を味わえた。

(2-4) まちの教育力を上げる

◆取組実績

●生涯学習の推進

- ・生涯学習ルームの開設 19校下
- ・生涯学習推進員連絡会等の開催 11回



【令和元年度業績目標】

- ・ 区の生涯学習事業で学んだ内容を、地域行事等で活かせる機会があると答えた事業参加者の割合：60%以上

目標：60%以上 ⇒ 実績：62.8%

目標達成



生涯学習ルーム参加者アンケートより

- ・ 2週に一度ですが、とても楽しみにしています。年齢の違った方々と共に勉強しています。
- ・ 友達もたくさん増えて楽しく学んでいます。作品作りに力が入ります。
- ・ 若い世代の人たちが参加しやすい環境づくりが必要だと思います。

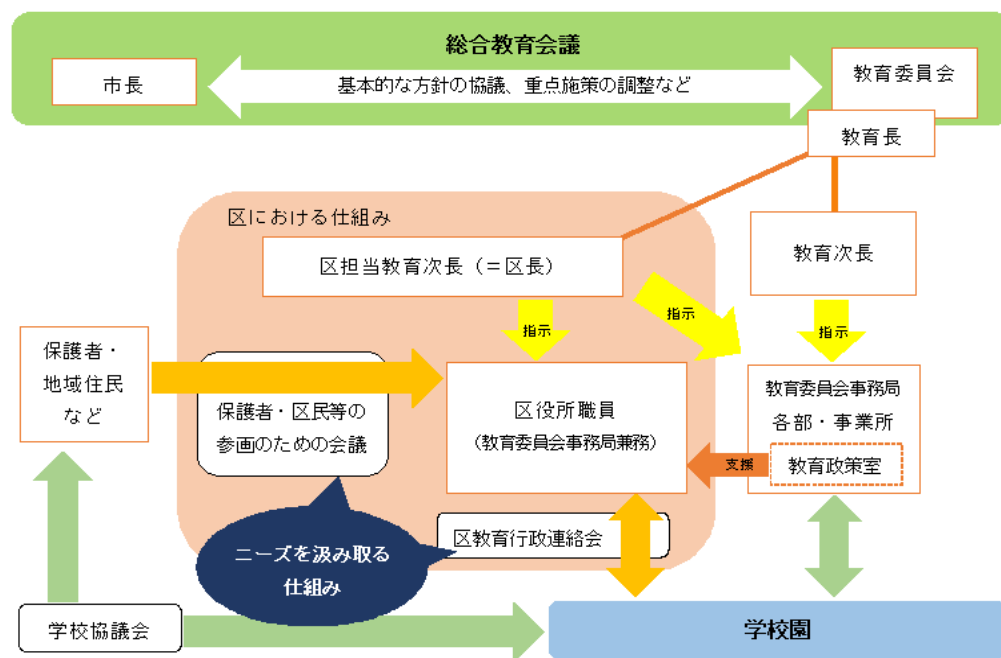
(3) 「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進

◆取組実績

●分権型教育行政の効果的な推進

分権型教育行政への理解促進を図るとともに、地域・学校の実情に応じた教育活動を支援する。

- ・ 区担当教育次長（区長）による学校施策への評価
- ・ 教育行政連絡会 小学校、中学校 各2回
- ・ 教育保育連絡会 1回
- ・ 各学校が実施する特色ある教育活動の取組みについて、広報紙やHP等を活用した情報発信（通年）





【令和元年度業績目標】

- ・ 学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる割合

目標:小・中学校長 40% ⇒ 実績:100%

小・中学校の学校協議会委員 83.3% ⇒ 実績:84.2%

- ・ 学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる
「保護者・区民等の参画のための会議」委員の割合

目標:40%⇒ 実績:80%

目標達成

令和元年度 具体的取組の目標達成状況 (こどもの未来部会関連)

具体的な取組	目標達成状況
子育てが楽しくなるまちづくり	一部未達成
次世代の学校づくり(学校配置の見直し)	未達成
次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現①)	未達成
次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現②)	達成
次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現③)	達成
次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現④)	未達成
次世代の学校づくり(学校・教育コミュニティ支援)	達成
まちの教育力を上げる	達成
「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進	達成

目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括

こどもの未来部会関連

- ・区民が安心して子育てできる環境が整っていると感じる区民の割合は、年々少しずつであるが増加している。また、様々な子育て支援の取組については、参加者からは好評を得ているものの、より多くの区民に周知することが課題であり、今後、子育て支援の情報発信をさらに進め、子育て支援機関・施設と連携し子育てしやすいまちづくりを進めていく。
- ・次世代の学校づくり（生野の教育）の取組については、一定の成果はあるものの、学習意欲に関する目標が達成できなかった。引き続き学習意欲の向上に向け、学校間の事例共有など必要な対策を講じていく。
- ・次世代の学校づくり（学校配置の見直し）については、魅力ある新たな学校の姿や地域の活性化につながる学校跡地を核としたまちづくりを提案しつつ、こどもたちの教育環境の改善を最優先に、保護者・地域住民に丁寧な説明と意見交換を重ね、引き続き取組を進めていく。

